

平成30年度第8回安城市地域ケア推進会議

日時 平成30年11月15日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

- (1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告 (資料1)
 - ・歯科医師会部会
- (2) 在宅医療・介護連携の課題と対応について(資料2)
 - (目標の例) 自宅・施設等での見取りを増やす
 - (問題点の例) 意思決定支援のための人材が不足している
- (3) 意見交換(フリートーク)
 - ・各部会の課題についてなど(来年度以降の各部会の研修、検討テーマのヒントとして)

連絡事項

- ・部会の検討テーマ、研修会のテーマの提出について(資料3)
- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会(資料4)
テーマ:「多職種協働(IPW)の障壁を低くするためには」(病院部会)
講師:新美 千寿代 氏、赤澤 洋美 氏、尾崎 雅也 氏
日時:平成30年12月1日(土) 午後2時から午後5時まで
場所:安城更生病院 2階 講堂
- ・認知症を知る講演会
日時:平成30年11月17日(土) 開場:午後1時30分 開演:午後2時
場所:安城市民会館 サルビアホール 講師:秋川リサ(女優・タレント)
- ・(安城地域リハビリネットワークからのお知らせ)
多職種向け研修会「これからはじめるフットケア～高齢者を足から守る～」
日時:平成30年12月1日(土) 午後6時30分～午後8時30分
場所:アンフォーレ 講師:花田 明香
- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会について

次回 平成30年12月20日(木) 午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室

在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

資料 1

10月18日 テーマ:口腔ケアの実際

講師:板倉 直美 氏、中根 尚美 氏(公益社団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)

※研修会の参加者28名 アンケート回収28名(回収率 100%)

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	0
2	歯科医師	1
3	薬剤師	0
4	看護師	3
5	保健師	0
6	理学療法士	2
7	作業療法士	0
8	言語聴覚士	0
9	栄養士・管理栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	0
12	社会福祉士	1
13①	(訪問)介護職	4
13②	(通所)介護職	1
13③	(施設)介護職	1
13	(所属未回答)介護職	4
14	ケアマネジャー	11
15	その他	0
0	未回答	0
合計		28

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院部会	0
2	医師会部会	0
3	歯科医師会部会	1
4	薬剤師部会	0
5	施設部会	2
6	デイネット部会	3
7	ヘルパーネット部会	5
8	訪問看護ネットワーク部会	2
9	訪問リハネット部会	2
10	ケアマネット部会	10
11	グループホーム部会	0
12	小規模多機能部会	2
13	町内会/民生委員等	0
14	保健福祉部会	0
15	その他(障害者サービス、行政等)	0
0	未回答	1
合計		28

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ	人数	
1	わかりやすい	26
2	まあまあわかりやすい	1
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	1
5	全く分からない	0
0	未回答	0
合計		28

(3)今後に活かせるか	人数	
1	活かせる	21
2	部分的に活かせる	5
3	どちらでもない	0
4	あまり活かさない	1
5	全く活かさない	0
0	未回答	1
合計		28

(2)満足度	人数	
1	満足	23
2	まあ満足	4
3	どちらでもない	0
4	やや不満	1
5	不満	0
0	未回答	0
合計		28

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 看護師ができるリハビリ
- ・ 実際の高齢者の口腔内の事例を通したデモンストレーション
- ・ 食事介助技術の研修があったら良いと思います。

5. ご意見ご感想など

- ・ 実習で他者に行う事のむずかしさを感じました。
- ・ 初めて他者からの口腔ケアを受け、気持ちが良いと体感することができました。また、同業者から、自分の口腔ケアの評価も聞くことができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ とても楽しかったです！！
- ・ 実際に自分も口腔ケアをしてもらうことで利用者の体験もすることができた。
- ・ わかりやすく、楽しく受けることができました。ありがとうございました。
- ・ 研修の内容を、会議の際に発表させていただきたいと思います。
- ・ もう少し早い時間に行っていただけると助かります。ありがとうございました。
- ・ 相互実習は、利用者さんの気持ちが分かりとても良かったです。
- ・ 楽しく研修に参加出来、また理解しやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 実習中に見学されている方がたくさんいたので、もう少し配慮して頂きたいと思いました。実習内容も事前に知らせて頂けるとよかったです。

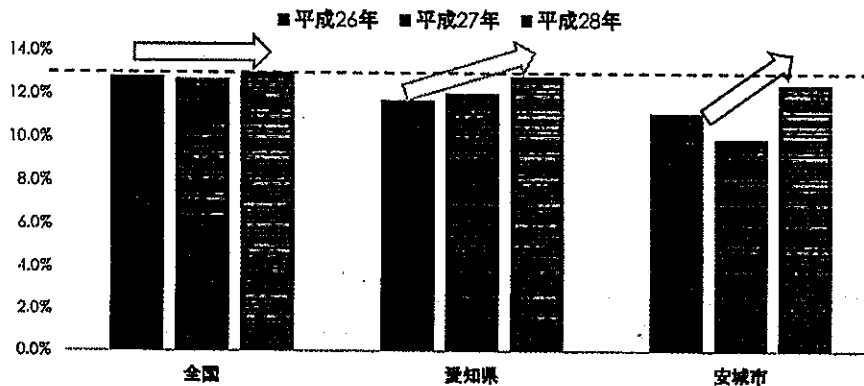
安城市における 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

安城市在宅医療サポートセンター
保健師 河井文幸・永井知直実

2. 安城市の在宅医療・介護連携の課題①

- 平成26年～平成28年の厚労省データでは、自宅死と老人ホーム死の割合は全国平均、愛知県平均、安城市のいずれも上昇している。
- しかし、自宅死と老人ホーム死のいずれの割合も全国平均および愛知県平均を下回っている。
- 特に平成26年～平成28年の厚労省データでは、老人ホーム死の伸び率が全国平均および愛知県平均を下回っており、特養など施設数や入所定員が増加する一方で、施設における看取りが進んでいない状況が示唆される。

自宅死の割合グラフ（年度推移）

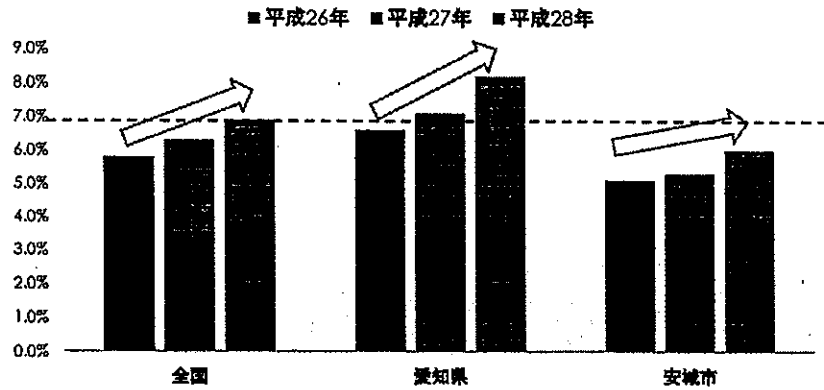


自宅死の割合（一覧表）

	平成26年	平成27年	平成28年	2年間の増減
全国	12.8%	12.7%	13.0%	+0.2%
愛知県	11.7%	12.0%	12.8%	+1.1%
安城市	11.1%	9.9%	12.4%	+1.3%

出典：厚生労働省ホームページ<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061944.html>，2018.4.24.accessed(ホームケア政策について分野別の政策一覧)健康・医療医療安全対策在宅医療の推進について)施策紹介 在宅医療にかかる地域別データ集)を元に一部データを加工。

老人ホーム死の割合グラフ（年度推移）



老人ホーム死の割合（一覧表）

	平成26年	平成27年	平成28年	2年間の増減
全国	5.8%	6.3%	6.9%	+1.1%
愛知県	6.6%	7.1%	8.2%	+1.6%
安城市	5.1%	5.3%	6.0%	+0.9%

出典：厚生労働省ホームページ<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000081944.html>、2018.4.24、accessed(ホームVV政策についてVV分野別の政策一覧VV健康・医療VV医療VV医療安全対策VV在宅医療の推進についてVV施策紹介 在宅医療にかかる地域別データ集)を元に一部データを加工。

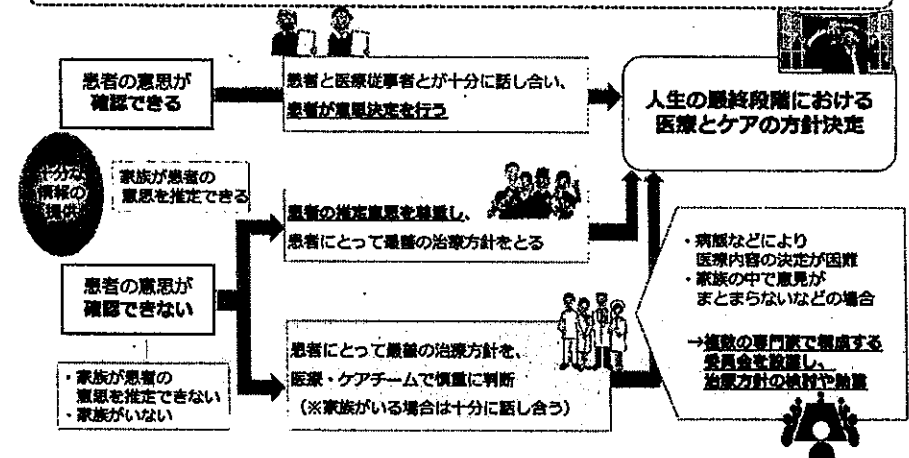
ここから生じる課題

- 老人ホーム死が少ない。
 - 施設に入所している高齢者が亡くなる直前に病院へ搬送され、病院死へ繋がっている。
- 施設の対応能力の問題。
 - 普段から在宅・施設職員が、看取りに向けてのエンドオブライフ・ケアやアドバンスド・ケア・プランニングの必要性が示唆される。

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」方針決定の流れ（イメージ図）

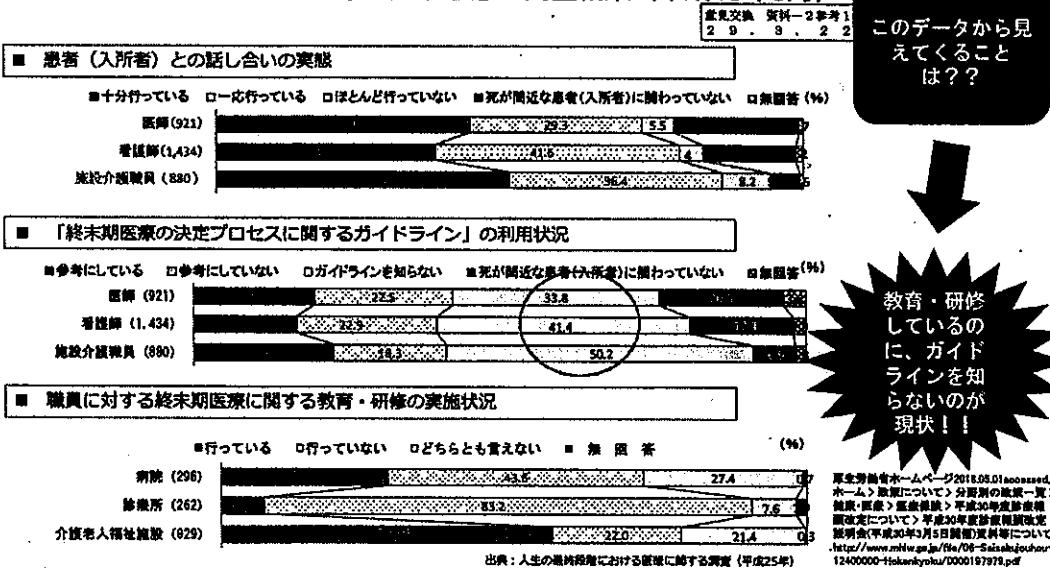
意見交換 資料-2参考1
29.3.22

人生の最終段階における医療およびケアについては、医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて患者が医療従事者と話し合いを行い、患者本人による決定を基本として進めることが最も重要な原則



厚生労働省ホームページ
2018.03.01 accessed. ホーム>政
策について>分野別の政策一覧
>健康・医療>医療政策>平成
30年度診療報酬改定について>
平成30年度診療報酬改定委員会
(平成30年5月8日開始)資料等につ
いて。
<http://www.mhlw.go.jp/ia/08->
SeisakuJouhou-12400000-
HokanKyoku/0000197979.pdf

人生の最終段階における医療に関する意識調査結果（平成25年3月）



対応策の検討①

1. 特別養護老人ホーム等の市内高齢者入所施設について、看取りの現状と課題について実態を把握するための調査を行う。
2. 入所施設においても看取り（老人ホーム死）を行えるようになるために、必要な医療との連携やスキルアップについて枠組み構築へ向けた協議が必要。（今回の報酬改定でも評価）

対応策の検討②

1. 引き続き在宅での看取り（自宅死）ができるよう在宅医療・介護の提供体制を確保すべく、引き続き関係者との連携およびスキルアップを図っていく。
2. 安易に病院を頼らないケアマネジメントの確立に向けた、地域ケア個別会議（多職種参加による自立支援型ケアプラン検討会）の開催を推進。
3. 医療と介護のコミュニケーション等の様々なギャップを埋めるための研修会を開催。

課題解決に向けた取組の大前提

- ◆ 将来必ず起こり得る問題に対して、2025、2040
- 自分事として、今から備えるか？
- 今はまだ大丈夫だから、その時（手遅れ）になってから考えるか？

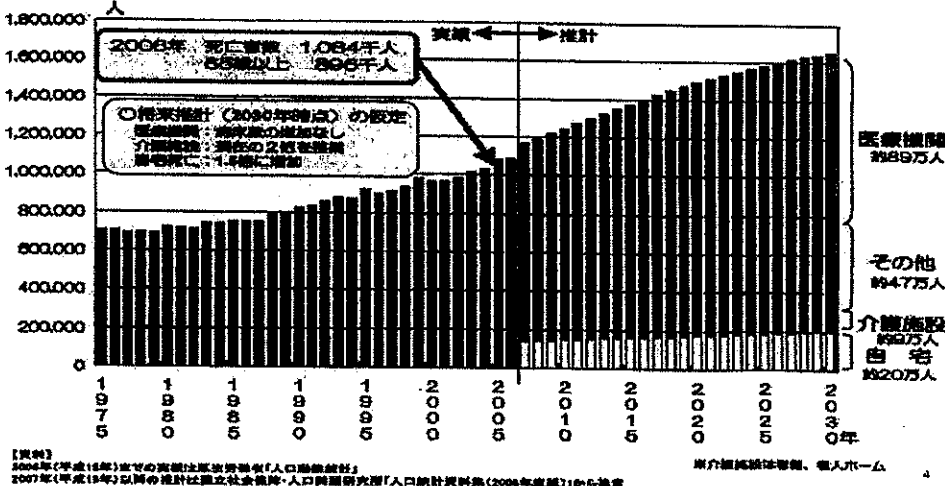
地域包括ケアシステムの構築へ向けた取組の成否は、我々の「選択と心構え」に基づく問題

- ◆ 阻害要因：正常性バイアス（認知バイアスの一種）
- 自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人の特性。災害時も「自分は大丈夫だろう」という根拠なき認識に基づき、逃げ遅れて被害に遭う人などに見られる現象。

➡ 少子高齢化に伴う諸問題は、一種の災害（人災？）

今後の看取りの場所

1. 地域における看取りの取組について



今後の方向性における共有すべき前提

- ◆ 今後迎える多死社会において、病院死の大幅増は見込めない。
- ◆ 在宅や介護施設などの高齢者入所施設等での看取りを進める事が求められている。
- ◆ 安城市においては、今後も地域密着型を含めた介護老人福祉施設(特養)の設置が進むことと、老人ホーム死の割合が低いことを踏まえ、施設での看取りについても積極的に取り組む必要性がある。
- ◆ 一方で、介護事業者は中小規模が多く、人材の確保・育成に対する投資が限定的で費用対効果が低い。
- ◆ 今後の少子化および医療・介護の担い手不足を考慮すると、看取りに関しても持続可能で効果的かつ効率的な連携・協力体制を地域全体で作り上げることが肝要。

安城市における在宅医療・介護連携の課題と目標

平成30年12月28日（金）までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田)：E-mail: terada-yukiko@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

部会名（ 部会）

課題	(仮) 看取りについて
目標	(仮) 自宅・施設などでの看取りを増やす

課題に対する問題点	対応策（誰が誰に対して何をするか）

平成 3 0 年度

安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書

報告書ができ次第高齢福祉課にご提出ください。(最終)平成 3 1 年 2 月 2 1 日 (木)

提出先(担当稲垣) : E-mail: inagaki-toshiyuki@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

部会名 () 部会)

検討テーマ	
検討内容	
結果・方向性 など	
検討回数・方法	会議 回 参加人数 延べ 人 電話 FAX メール その他 ()
備考	

平成31年度 地域包括ケアシステムの構築に向けた研修企画案

*の箇所は必ず記入してください。

企画が複数ある場合は複数枚提出してください。

平成30年1月17日(木)までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当稲垣) : E-mail: inagaki-toshiyuki@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

* 部会名		* 担当者名 連絡先	TEL
-------	--	---------------	-----

研 修 案	開催希望月	
	希望する会場	(参加予定人数 人)
	* テーマ	
	講師の氏名・ 職種・役職等	(職種・役職)
	開催にあたり協力 してもらいたい 部会	講師として (部会) 企画・運営にあたり (部会)
	* 研修会に参加 してほしい部会	<input type="checkbox"/> 自部会のみで開催したい <input type="checkbox"/> すべての部会 <input type="checkbox"/> 一部の部会 (参加してほしい部会に○をつけてください) 病院・医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護・訪問リハ・ ケアマネ・小規模多機能・デイ・ヘルパー・施設・ グループホーム・保健福祉・地域支援・住まい
	備考欄	

平成31年度 各部会での検討テーマについて

資料3-2

*平成31年1月17日(木)までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当稲垣) : E-mail: inagaki-toshiyuki@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

部会名	
-----	--

検討テーマ	
理由	(検討テーマが複数ある場合は、それぞれについて理由を記入してください)
このテーマを検討するにあたって協力してもらいたい部会	

平成30年度 安城市在宅医療・介護連携推進のための研修予定 (講師等の都合により変更する場合があります)

平成30年11月29日現在(差し替え)

日 時	主催する部会	内 容	講師	参加予定の部会	会場
9 月 1 日 土 ①14:00~ ②13:00~		①地域包括ケア市民フォーラム 人生の最終段階の生き方について話し合おう ～本人・家族・医療者～で行うアドバンス・ケア・プランニング～ ②高齢者の生活を支える介護のお仕事と施設の紹介、在宅医療・介護の相談コーナー	杉浦 真氏(安城更生病院在宅医療連携推進センター長) ・劇団サルビー見守り隊	一般	アンフォーレ ①ホール ②多目的室
11 月 17 日 土 14:00~		認知症を知る講演会 ・講演 ・寸劇で知ろう認知症	講師 秋川 リサ氏(女優・タレント) ・劇団サルビー見守り隊	一般	市民会館 サルビアホール
5 月 25 日 金 18:00~	訪問看護ネットワーク部会 ケアマネット部会	訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会		訪問看護ネットワーク部会 ケアマネット部会	総合福祉センター 会議室3
6 月 22 日 金 19:00~	訪問リハネット部会	自立支援を目的としたリハビリテーションの視点を学ぶ～地域ケア会議に呼ばれたとき、お役に立てる療法士を目指して～	都築 晃氏 藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター医療科学部リハビリテーション学科	すべての部会	八千代病院 大会議室
7 月 7 日 土 13:30~	医師会部会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会	杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長	すべての部会 (定員30人)	医師会館 2F 大会議室
7 月 13 日 金 13:30~	デイネット部会	地域と事業所と他事業所との連携づくりについて	岡田 高志 氏(デイサービスみどり) 清水 隆幸 氏(八千代リハビリデイサービス彩)	デイネット部会 訪問リハネット部会	市民会館 視聴覚室
8 月 9 日 木 18:30~	グループホーム部会 小規模多機能部会	認知症のBPSへの対応と地域密着型施設のあり方について	和田 行男 氏	すべての部会	市民会館 大会議室
9 月 13 日 木 14:00~	保健福祉部会	支援における家族理解～8050問題から考える制度の狭間問題の家族支援とネットワーク支援のあり方～	高橋 健輔 氏 名古屋市成年後見あんしんセンター	すべての部会	市民会館 大会議室
10 月 18 日 木 15:00~	歯科医師会部会	口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」	板倉 直美 氏、中村 尚美 氏 (公益社団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)	すべての部会 (定員40人)	総合福祉センター 会議室3
11 月 7 日 水 18:00~	施設部会	多様化する福祉人材について ～外国人雇用の現状と課題～	古田 周作 氏 (社会福祉法人福寿園常任理事)	すべての部会	総合福祉センター 会議室3
12 月 1 日 土 14:00~	病院部会	多職種ワークショップ研修会 「多職種連携(IPW)の障壁を低くするためには」	新美 千寿代 氏(更生介護保険センター) 赤澤 洋美 氏((株)ライフサポート訪問看護ステーション) 尾崎 雅也 氏(24H看護・介護ステーションオレンジ)	すべての部会	安城更生病院 2F 講堂
1 月 19 日 土 13:30~	ヘルパーネット部会	生活サポーターとの連携 ～あんジョイ生活サポーター養成研修の内容について～	(株)ニチイ学館 講師	介護保険関係 の部会	市民会館 大会議室
2 月 16 日 土 18:00~	薬剤師部会	在宅で薬剤師ができること	小林 伸一氏(愛知県薬剤師会 常務理事)	すべての部会	市民会館 講座室

主催：花田式フットケア研究所

主管：安城地域リハビリネットワーク

平成30年10月吉日

協賛：株式会社ジェイ・エス、株式会社ドリームループ

多職種向け研修会

これからはじめるフットケア

～高齢者を足から守る～

医療法人社団 喜生会 新富士病院 外科診療部長 血管外科センター長

医師 **花田明香** 先生



再生医療認定医

下肢静脈血管内焼灼術指導医

所属学会

日本フットケア学会 評議員

日本心臓血管外科学会 会員

日本外科学会 会員

日本脈管学会 会員

その他

日本脈管看護師会 顧問医師

アルベロ 代表

第16回日本フットケア学会大会長(2019)

日時 : 平成30年12月1日(土) 18:30～20:30

場所 : アンフォーレ (〒446-0032愛知県安城市御幸本町12番1号)

※駐車場有、JR安城駅から徒歩5分

受講費 : 1,000円

申し込み : なし 当日直接会場にお越しください

対象者

看護師、介護士、ケアマネジャー、保健師、社会福祉士、
医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等

お問い合わせ

安城地域リハビリネットワーク 青木一樹

aoki@ansyokai.or.jp

現場ですぐに使える!!

定員：40名

福祉施設職員のためのレクリエーション講習会

主催：安城市レクリエーション支援者クラブ

第1回：1月30日（水）・・・導入ゲーム

第2回：2月 8日（金）・・・創作ゲーム①

第3回：2月20日（水）・・・創作ゲーム②

※各回午後3時30開始、午後5時まで（受付：午後3時から）

福祉施設で日々活躍している皆さんのために、今すぐにでも使える基本的なゲームを中心にレクリエーション講習会を開催します。全3回コースです。

会場◆安城市総合福祉センター1階第3会議室

安城市赤松町大北78番地1 Tel.0566-77-7888(月曜日休館)

対象者◆福祉施設で介護に携わっている人

資料代◆1,000円(第1回目の当日受付にてお支払いください。)

※2回目・3回目を欠席されてもお返しいたしません。

定員◆40名(先着順)

申込み◆下記の申込書に必要事項を記入の上、2019年1月18日(金)までに、

郵送、FAX、E-Mail のいずれかでお申し込みください。

申込先◆安城市レクリエーション支援者クラブ事務局澤幹雄あて

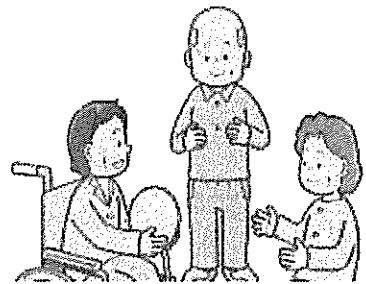
〒444-1201 安城市石井町辻原 108-1 Tel・FAX0566-92-0820

E-Mail:sawa@katch.ne.jp 携帯電話:090-4267-0351

持ち物◆運動のできる靴・服装、タオル、筆記用具 等

備考◆連絡なしでの当日欠席はご遠慮願います。

後援◆安城市社会福祉協議会



2018年度『福祉施設職員のためのレクリエーション講習会』申込書

フリガナ		性別	生年月日
氏名		<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	S・H 年 月 日
住所	〒 -		
勤務先			
連絡先 電話番号	電話 - -		

※申込書の個人情報は、本講習会以外には使用しません。なお、取り扱いには十分に注意いたします。